

羽島市 橋梁長寿命化修繕計画

1. 橋梁長寿命化修繕計画とは

橋梁は年とともに劣化や損傷が生じますが、それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事(再塗装やひび割れの補修など)を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

詳しくは → [国土交通省ホームページ\(道路橋の予防保全に向けた有識者会議\)](#) へ

2. 羽島市の橋梁の概況

羽島市の橋梁は全部で約 600 橋、うち 15m 以上のものが 39 橋あります。

大河川に架かる橋がないため、中小規模の橋梁が多くなっています。現在、50 年以上経過したものは数橋ですが、今後、劣化への対応が必要となっています。



3. 計画

幹線道路上で、かつ災害時における防災拠点(避難所や災害対策所)への通行に必要な 42 橋について点検を行い、その結果に基づいて修繕の計画を立て、工事を実施してきました。

今後は継続して点検を行い、その結果を基に計画を修正するとともに、修繕工事を実施していきます。

修繕実施橋梁

年度	橋梁名
平成 27 年度	平成橋、川瀬橋

修繕計画

年度	代表的な橋梁名
平成 35 年度まで	佛供田橋、川口前橋、小熊第 1 大橋 2 号橋、内栗野橋 他

- ※ この計画は、実施済みの点検結果などを基に策定しており、今後実施する点検の結果や、災害対応等の要因により変更となる場合があります。
- ※ 上記は平成 26 年度に計画を策定した 42 橋に関する分であり、上記以外の橋でも修繕工事を行う場合があります。また、橋梁点検も順次実施します。